

平成24年度

# 本部研修会

平成24年9月10日 月  
徳島グランヴィリオホテル  
受講者：108名

研修委員長 張 裕信 (有清福不動産)

現在、賃貸住宅は住宅ストックの4分の1以上を占めると言われ、約8割の所有者は管理会社に管理委託をしており、賃貸住宅管理業の重要性はますます高まりつつあります。また、平成23年12月には国土交通省に於いて新たに賃貸住宅管理業者登録制度が施行されました。

こうしたことを踏まえ、この度の本部研修会を、平成24年9月10日(月)午後1時30分より、徳島グランヴィリオホテルに於いて二部構成にて開催致しました。

\* \* \* \* \*

第一部では「賃貸住宅管理業者登録制度」について、国土交通省四国地方整備局建政部、賃貸住宅管理業係長 久保田氏よりご説明を頂き、この登録制度の促進に向け全面的に会員サポートを実施する他、充実した事業を提供し、会員の賃貸管理業務を強力にバックアップする一般社団法人全国賃貸不動産管理業協会の事業説明を、宅建協会出口会長が説明しました。

また、「県の公共事業に伴う代替地に関する情報提供について」県用地対策課の中島主任専門員からも説明を頂きました。

\* \* \* \* \*

第二部では、地域の特性にあった企画、管理業務を体系的に行い、オーナー、テナントの利益と満足度を最優先に取り組むことを信条に賃貸経営計画を科学的な根拠に基づいて多角的、多面的に分析し、リスクのない経営を側面から支援できるノウハウの提供に関し、宮城県仙台市を拠点として事業展開をされており、昨年3月11日に発生した東日本大震災も身をもって体験され、そうした実体験を通して得た災害に対するリスクマネジメントをテーマに一般社団法人全国賃貸不動産管理業協会・業務企画委員長であられる佐々木正勝氏に「東日本大震災から学ぶ宅建業者の危機管



第二部講師 佐々木 正勝 氏

理とは」と題してご講演を頂きました。

\* \* \* \* \*

近年、我が県に於いても東海沖から四国沖にかけての南海トラフ沿いで巨大地震が発生した場合の防災や災害支援に対する意識が高まりつつあり、各種団体においても様々な対策が講じられておりますが、各組織単位または組織の枠を超えた防災・災害支援についての情報を共有する機会はまだまだ十分ではありません。

我々業界の業務としての危機管理・予防対策はもちろん、災害後における処理、事務手続き等に関し、より一層具体的な事例に基づいた知識と対策を深め、他業種との連携を図らなければならないと思いました。

